

# 曾於文藝

うたごよみ

題字

末吉文化協会会員 瀬戸口 淳民氏

## 俳句

### 末吉俳句会

いつ来ても幸せ色の睡蓮花

児玉 典子

池濁し向きを変へゆく鯉涼し

西村 セツ

花に止まり草に沈むや蝶二つ

本浦 玲子

## 大陽俳句会

菜園の天地返しや夏隣

鍋山 美智子

小雨降る朝の繰り戸や鳴く蛙

岩重 みどり

くちなしの花びら揺らす雨雫

福村 よう子

## 短歌

### 末吉短歌会

陸自のへり原型はなく海の底

人為の怪か御霊は還らじ

大森 巳喜生

コロナ禍の最中もらひしサクララン

蕾ついたり薫風あびて

平田 美穂子

ボヘミアンのところ頭ちくる陋屋に

棲みてときおり寝場所を変える

泊 康

## 大陽短歌会

小綬鶏の親子を久しく見ざるなり

「チヨットコイも一度来ーい」

「コロナ」ゆえ親子も距離を取りおりしが

今日は集える「カンパイ」の膳

嬉し事友の健やかなるに逢い

昔語りをほつほつなししよ

昔語りをほつほつなししよ

昔語りをほつほつなししよ

川辺 敦子

## 財部短歌会

連休に間に合うはずの苺畑

雉子の番が首をかしげる

永岡 冴子

苗ゆらり歌友にもらいしセンリヨウの

移植終へたる五月の庭に

脇丸 洋子

## 薩摩狂句

### にがごい会末吉支部

長寿友達 久しか振り旅行

よか気張い

浜田 一好

ツアー旅行 一日限いの

友達けなつ 古川 一幹

焼酎豆腐 友達が持つ立て

雪花菜添え 胡摩ヶ野 べぶまつ

友達の集い 話題しや病んめで

盛りあがっ

盛りあがっ

桐野 奈世